

実現に向けたコンパクトシティの取り組み

ウェルネスシティ 信州小諸

- 自分らしく居られるまち、自分に還れるまち -

小諸市長 小泉 俊博



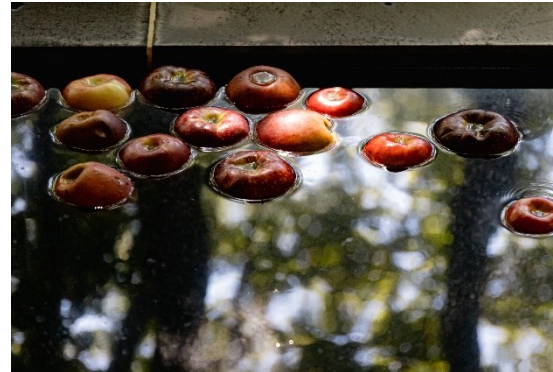
<目次>

- 1 小諸市の紹介
- 2 小諸市の課題、移りゆく社会
- 3 小諸版ウェルネスシティとは何か
- 4 ハードインフラの整備
- 5 ハードインフラとソフトインフラの相乗効果
- 6 行政の企業誘致の取り組み
- 7 産官学協働の取り組み
- 8 民間の創業支援・移住促進の取り組み
- 9 顕著に表れる取り組みの成果
- 10 ウェルビーイングの達成と広域への視点

1. 小諸市の紹介



こんなに**たくさんの“お宝”**があります！



東京から電車で90分
自動車では150分

小諸市は、長野県の東部に位置し、北に浅間山、南西部に千曲川が流れる自然豊かなまちです。小諸市の標高は約600メートル～2,000メートルと高地に位置し、年間を通じて雨の日が少なく、国内でも屈指の晴天率を誇ります。人口：40,788人（2022.1.1現在）



2. 小諸市の課題、移りゆく社会



人口的課題

2020年

40,850人

将来推計
20年後

2040年

32,624人

人口約**20%減**

社会インフラ
公共サービスの維持が困難

小諸市や市民の意識的課題

課題①

多くのお宝（観光資源・伝統文化・地理的長所など）があるのに、それを十分に活かしきれていない。

課題②

市民がお宝を十分に知らない。

課題③

小諸市や市民であることに誇りが持てない。

小諸に**元気と誇り**をとりもどす
新たな視点に触れ
市民の**意識改革**が必要

移りゆく社会

新型コロナウイルス感染症は
“人々の意識の変革、と
“社会構造の大転換、を
もたらした。

1. パンデミック時の
「**大都市の脆弱性**」
が判明
2. **サードプレイス**の
重要性が上昇
3. **デジタル社会**や
地方創生の加速＝
自治体間競争の激化

時代とニーズにあった**小諸版ウェルネスシティ**により**ウェルビーイング**を目指す。

3. 小諸版ウェルネスシティとは何か



ウェルネスシティ信州こもろ

“自分に還る場所” “何度でも帰りたい”
“住みたい” “住み続けたい”

あらゆる分野における
ウェルネス

ウェルネス
サードプレイス



×

心と身体を癒し
自分に還る
「ウェルネスライフ」
を実践する場所

ウェルビーイング

肉体的・精神的・
社会的に
満たされた状態

幸福

自己実現の達成

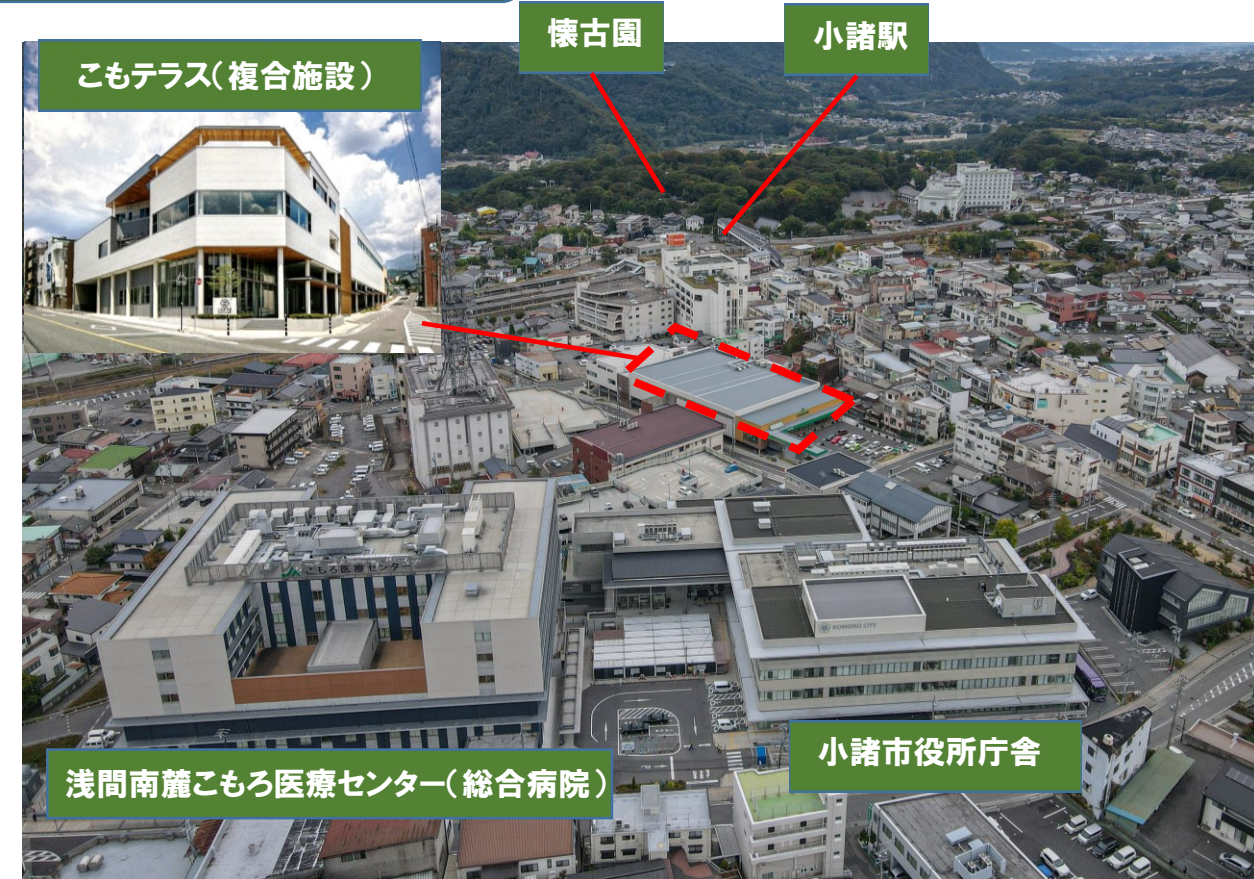
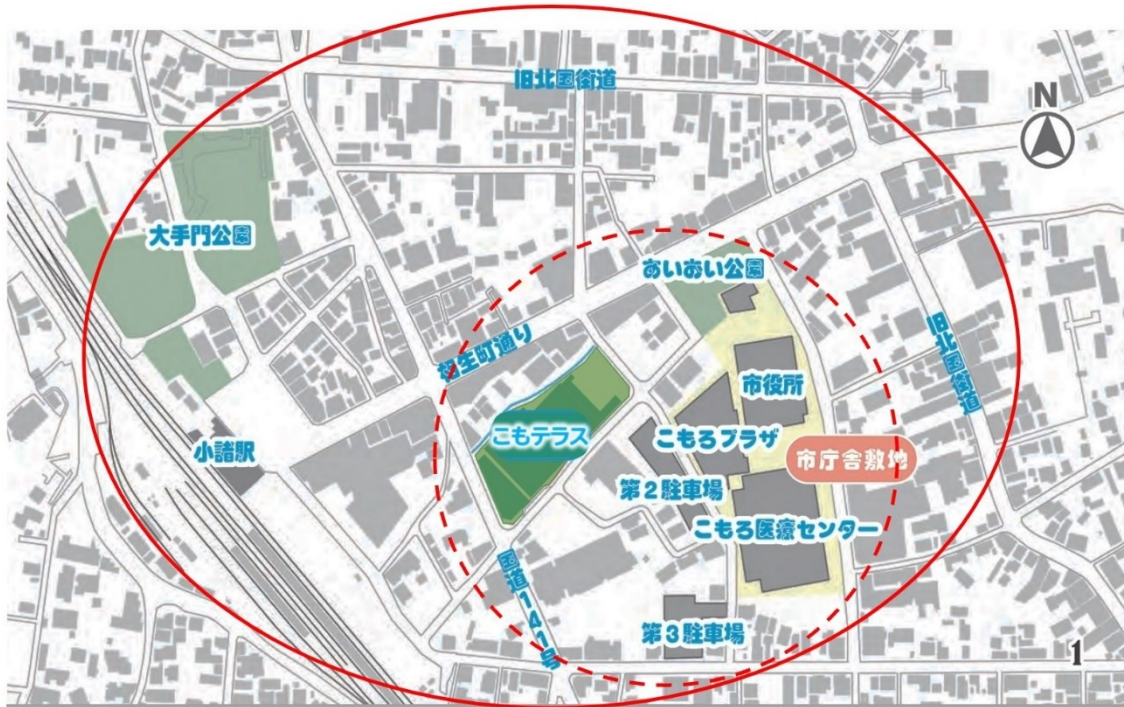
ウェルネスシティ信州こもろにより
すべての市民の

ウェルビーイングを目指していく

4. ハードインフラの整備



ネットワーク型 コンパクトシティ



コンパクトシティ→住まいと生活機能が近接している効率的な都市

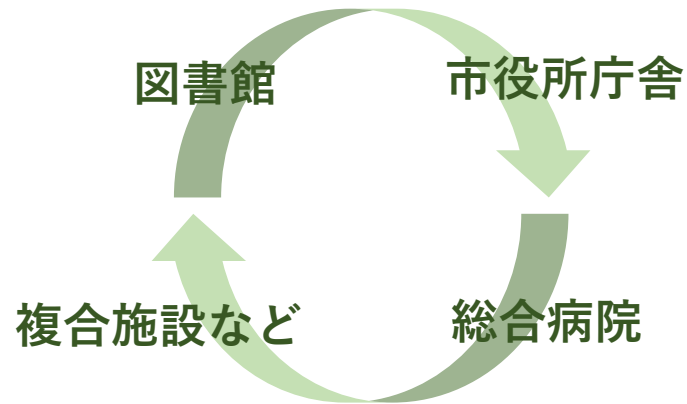
小諸市は国交省が推進している「地方都市リノベーション事業」の第1号認定

5. ハードインフラとソフトインフラの相乗効果

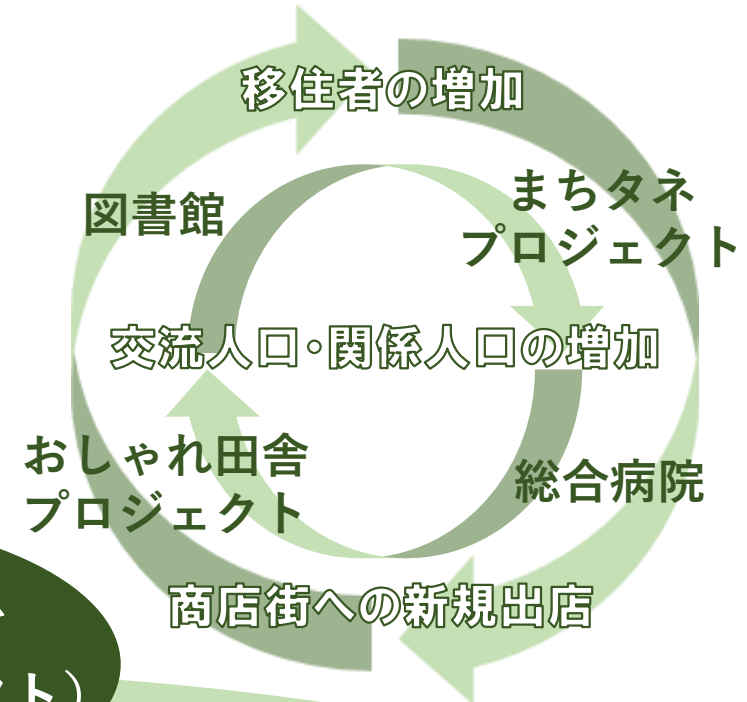


コンパクトシティ構想による拠点整備

公共的拠点（ハード）



相乗効果



拠点間と人と人をつなぐ取り組み（ソフト）

まちタネプロジェクト・おしゃれ田舎プロジェクト
スタラス小諸など

民間企業・市民・行政が一体となった地域プラットフォーム

まちづくりは、人が 核、面白い人・取り組みがさらに 人を結び付ける！

6. 行政の企業誘致の取り組み



企業誘致

今までの企業誘致は、お宝を意識した誘致ができていなかった...



地理的なお宝（例えば水が良い、災害が少ない）を基に
市職員の企業リサーチ・**熱意ある営業**により特徴的な企業とのマッチングに成功！

(株) Greve.t

→ワイナリー・レストラン・ショップ
Park-PFIを活用

ハーバー(株) (化粧品製造)

→無添加化粧品の工場

HABA

軽井沢蒸留酒製造(株) (ウイスキー製造)

→世界品質のウイスキー製造工場



(株) S A J (洋菓子店)

→有名パティシエの焼き菓子工場

pâtisserie
Sadaharu AOKI

7. 産官学協働の取り組み



■ MaaS事業



スマートカート egg



EVバス「こもこむ号」

社会実験型サービス

- ①DXによる情報発信
- ②EVバスや電動カートによる新交通

市×事業構想大学院大学×(株)カクイチで事業を構想する所からスタート。

×

UR都市機構や多くの民間企業と連携。

■ まちたねプロジェクト



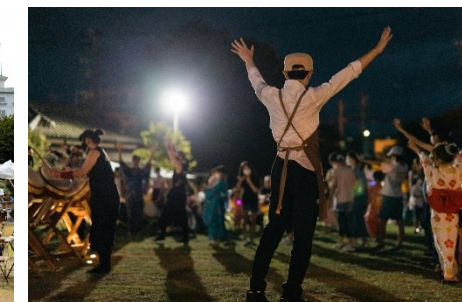
創造の遊び場



屋外映画観賞会



マルシェ



夏祭り

社会実験型広場

- ①市民のアイデアや想いで作る新たな公園
- ②若者や移住者の交流の場

8. 民間の創業支援・移住促進の取り組み



ウェルネスシティ 信州小諸

自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち



OSHARE
INAKA
PROJECT

Connection X KOMORO

PROJECT members (順次公開)



小林 秀行
Kobayashi Hideyuki
小諸市役所企画課



高野 慎吾
Takano Shingo
小諸市役所商工観光課



後藤 理恵
Goto Rie
コミュニティアレビこもろ
キャスター



市川 信行
Ichikawa Nobuyuki
相生町商店街振興会会長
無職実業家



福島 俊元
Fukushima Toshiyuki
セイケンリノベーション新
COMODO (コモド) 代表



杉山 亜衣
Sugiyama Ai
ひのきわフォト
フォトグラファー



鴨川 知征
Kamogawa Tomoyuki
BISTRO ACHIJE
イタリアンシェフ

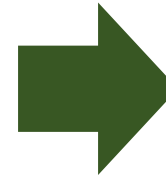


金山裕美・金山哲世
Kanayama
Hiromi/Tetsuya
小諸駅前まど 代表

おしゃれ田舎プロジェクト

商人・移住者・行政マンの
民間プロジェクトチームが
移住創業を支援

お宝(古い建物)を活かした創業
視点の違う移住者は廃墟を魅力的なお店に



新規出店の増加

約30店舗！

(コロナ禍の3年間で)

事例①

元床屋



イタリアン
レストラン



事例②

元スナック



花屋 & カフェ



9. 顕著に表れる取り組みの成果



◆ 過去6年半の小諸市人口増減

年	総人口 (1/1現在)	人口増減	自然増減数	社会増減数
2022 (1~6月)	40,788	▲10	▲147	137
2021	41,013	▲225	▲241	16
2020	41,381	▲241	▲259	18
2019	41,625	▲244	▲244	0
2018	41,802	▲177	▲207	30
2017	42,105	▲303	▲225	▲78
2016	42,462	▲357	▲221	▲136

2022年上半期に大幅な社会増に転じた!
年間では“人口増”の可能性もでてきた!

若い人達が増え、交流が活発化し、
“**化学反応**”が起き始めている。



(資料) 長野県「毎月人口異動調査」

10. ウェルビーイングの達成と広域への視点



地元住民があたりまえと思っている
地域資源が、実は他には無い魅力となっている。

“小諸だから選ばれる”
“小諸でなければできない”がカタチになりつつある。

市民が「小諸を知り、愛し、誇りに思い、行動する」
＝シビックプライドにつなげ、健康で生きがいを持ち、
安全・安心で豊かな人生を営み、自己実現をしていく
ウェルビーイングで元気な小諸市に！

ウェルネスサードプレイス構想

「あるモノは最大限活かし、広域で相乗的に増幅させる
また、ないモノは、広域で相互に補完する」という発想

広域全体として光り輝くと同時に構成する自治体それぞれが、より輝きを増す。相乗効果の繰り返しにより、
活力にあふれた地域へともに歩いていく。

